

## その8

### 第7章: 肉体的武器-サタンを縛る

現代の靈的戦いの方法論の分析は、「サタンを縛る」という実践を見ずして完結しません。

現代の靈的戦いの教師たちが行っている偽りの実践の中で、この実践はカリスマと非カリスマの両方で絶大な人気を誇っています。

これまで見てきた他の実践と同様に、私たちは、自分の信念と実践を神の真理の権威の下に置くことを模索する際に、聖句を指針としたいと思います。

そうすると、聖書にはサタンを縛るという教えも例もないことがわかります。

何かを「縛る」とは何ですか？

今日、ほとんどのクリスチャンは、サタンを縛るということをよく知っていると思います。

祈禱会や聖書研究会、ディボーションの時間、そして日曜礼拝の説教壇でも耳にしたことがあるでしょう。

“サタンや悪魔、悪霊を縛ることは、クリスチャンが公の場や個人的な解放セッションで行うだけでなく、多くのクリスチャンが定期的に行っている個人的な活動でもあります。

サタンを縛ることによって、サタンの活動が制限されたり、妨げられたり、禁止されたりすると信じられています。

例えば、ある人は、福音を伝えたい人がキリストを救い主として信頼する可能性を高めるために、サタンがその人の目をつぶさないようにと祈るかもしれません。

あるイベント（コンサート、礼拝など）でサタンが束縛されて、そのイベントに影響力や権力を持つことができないように祈るかもしれません。

あるいは、地理的な場所（新居、近所、教会、寝室、職場、ホテルの部屋など）からサタンを封じ込めてほしいと祈る人もいるでしょう。

祈りの内容は、神への無邪気な願望から、サタンへの直接的な命令まで様々です。

私は人が両方の方法で祈るのを聞いたことがあります。

私の知り合いには、「主よ、サタンがここで何の影響も受けないように縛ってください」と無邪気に神にお願いする人がいました。

その一方で、テレビ伝道者のロバート・ティルトンは、テレビの国で信者を攻撃していると信じる悪魔の力に対して、ほとんど狂気のような暴言を吐いています：

サタンよ、エイズ [3] とエイズウイルスの悪魔の霊よ、あなたを縛ります。癌、関節炎、感染症、偏頭痛、痛みの悪霊よ、その体から出てきなさい。

その子供から出てきなさい。その人から出てきなさい。サタンよ、あなたを縛ります。あなたは汚い悪魔です-病気と疾患の霊、内耳と肺と背中の不調を。

関節炎、病気、疾患の悪霊よ。あなたは胃の中で苦しめる不健康な霊です。

サタンよ、あなたを縛ります。ニコチンの霊よ、汝らを縛る。

イエスの名において非常に保守的なビル・ゴサード先生でさえ、イエス・キリストの名と血によってサタンを縛ることを提唱しています。

彼の著書「Rebuilders Guide」の中で、ゴサードは「サタンを縛り、『いばらの生け垣』を作るための祈り」を提供しています：

「天の父よ、主イエス・キリストの御名と血によって、サタンを叱り、縛ってください。

ゴサードは、この実践を支持するために、マルコ3：27とユダ9を引用しています[6]。

そして、「サタンの力に支配された愛する人を取り戻そうとする前に、まずサタンを縛る必要があります。そうしないと、サタンはその愛する人を通して、あらゆる回復の試みに対する反応を作ります。」といます。

愛する人を取り戻そうとする前にサタンを束縛しないとどうなるのでしょうか？

ゴットルドはこう答えています。「サタンを縛らずに、サタンの家を破壊しようとしても、口論になるだけです。」

私の意図はビル・ゴサードを批判することではありません。正直なところ、このアドバイスを引用する保守的な教師はたくさんいます。

この教えは、教会の隅々まで浸透しています。霊的戦いの教師であるMark I. Bubeck, は、自殺願望のある“クリスチャン”が夜中に電話で相談してきたという話をしながら、その時の会話を次のように記録しています。：「私は彼と一緒に祈り、彼を滅ぼそうとしていたサタンの力をすべて束縛しました。」 9]

同じ本の中で、ブーベックは、対決戦で悪魔に対処するための「やるべきこと」と「やってはいけないこと」のリストを示しながら、「邪悪な霊の下で働いているすべての暗闇の力を彼に縛り付け、彼が去るときにはすべての力を退けるように命じなさい」と指示しています。10]

ブーベックのように、ニール・T・アンダーソンの霊的戦いのアプローチは、「悪霊の下で働いているすべての暗闇の力を縛り、悪霊が去ったときには、その力をすべて取り除くように命じる」と指示しています。

アンダーソンの霊的戦いへのアプローチは、悪魔に対する信仰者の権威を前提としています。

アンダーソンは次のように教えています。

「神は私たちに、『天で縛られるべきものを縛る』権限を与えてくださいました。強者（マタイ12：20参照）を縛る効果は、聖霊の導きによるものであり、書かれた神の言葉の範囲と限界に従うものです。

私たちは、(誰か)の周りにいるすべての悪霊が沈黙に縛られることに同意します。悪霊は痛みを与えたり、(誰か)の心に語りかけたり、(誰か)が聞いたり、見たり、話したりするのを妨げたりすることはできません。

今、主イエス・キリストの名において、あなた、サタン、およびあなたのすべてのホストから、(誰か)を解放し、(誰か)が神に従うことができるように、彼らが縛られて猿轡をはめられたままでいることを命じます。」

もしあなたが、健全な神学に触れることを期待してCBN（Christian Broadcasting Network）にチャンネルを合わせたら、とてもがっかりすることでしょう。

700クラブという放送では、パット・ロバートソンが家庭内での悪魔の攻撃に対処するために、サタンを縛ることを提唱しました。

Bring It Onのコーナーで、ロバートソンは「ギルバート」から次のような質問を受けました。

「私たちは、イエスの名のもとに悪魔を懲らしめるべきなのか、それとも神に問題を解決してもらうべきなのか？」

ロバートソンは、「霊的な戦いをする必要があると思いますし、自分が何をしているのかを理解する必要があると思います」と答えました。

「しかし、私は（自分の名前）、サタンと悪の力を縛り、イエスの御名において、あなたの力を縛ります。...それが、この状況に対処する方法です。」14]

証明書が救いの手を差し伸べる

この悪魔対処法を教え、実践している人は、一般的に、聖書の裏付けとして、いくつかの標準的な聖書の節を提示します。

それは、以下の通りです。マタイ 12：29：「まず強い人を縛らなければ、どうして強い人の家に入って、その財産を奪うことができるだろうか。そうすれば、彼はその家を略奪するだろう。」

「そして、あなたが地上で縛るものは、天でも縛られていることになり、あなたが地上で解くものは、天でも解かれていることになる。」 マタイ 18：18：「あなたがたが地上で縛ったものは、天でも縛られ、あなたがたが地上で解いたものは、天でも解かれるのである。」

すぐに、「強い人」、「縛る」、「天で縛る」、「地で縛る」という言葉が出てくることに気づくでしょう。

これらのフレーズだけで、サタンを縛るための定型的な祈りを含む霊的戦いの神学全体を構築してしまう人もいます。

しかし、それぞれの箇所を文脈に沿って正しく解釈すると、イエスの言葉に対する理解は全く違ったものになります。

それでは、それぞれの箇所を見ていきましょう。

マタイ 12:29 とその文脈 [16]

Matthew 12:29: 「あるいは、まず強い人を縛らなければ、だれも強い人の家に入って、その財産を奪うことができないだろう。そうすれば、彼はその家を略奪するだろう。」

このように、サタンは強者であり、罪人はその所有物であるという教えがあります。愛する人をサタンの支配から救うためには、まずサタンを縛り、「彼の家を略奪する」という私たちの努力に抵抗できないようにしなければなりません。

29節を読んだだけでは、この箇所が現代のサタンを縛ることについて書かれているという誤った結論に陥ってしまうのは簡単です。

実際には、そのようなことは何も書かれていません。

マタイ12章の文脈は、霊的戦いとは全く関係がありません。

これは、主イエスが悪霊に取り付かれた人を癒したという、主イエスの人生における歴史的な出来事の記録です。

群衆は、イエスが自分で主張しているとおりの人物、すなわちダビデの子であるかどうかを疑い始めました (12:23)。

それは正しい事ですが、ファリサイ派の人々が群衆に到達させたかった結論ではありませんでした。

「この人が悪霊を追い出すのは、悪霊の支配者ベルゼブルによらなければならない」 (12:24) と言って、イエスがメシアであると結論づけるのをやめさせようとしていました。

このような告発のおかしさを示すために、イエスは、メシアの資格を示すためにご自分がなされたすべてのことが、サタンに直接対抗するものであると指摘されました。

なぜサタンはサタンを追い出すのでしょうか (12:26)?

なぜサタンは、キリストに力を与えてサタンと戦わせることで、自分自身と戦うのでしょうか。

なぜなら、キリストが行ったことはすべて、サタンの働きと力に対抗するものであることは明らかだからです。

そのような王国がどうして成り立つのでしょうか（12：25）。

もしイエスがこの世に来て、サタンの王国に対してこれほど効果的に戦い、その捕虜を略奪することができるなら、きっとイエスはサタンよりも強いに違いありません。

イエスはサタンに力を与えられたのではなく、サタンを圧倒していたのです。

それが、29節の意味です。

確かに、この節ではサタンが強い人ですが、この縛りはキリストがサタンに勝つ強さを示すための例えであって、私たちが従うべき命令や例ではありません。

イエスは私たちにサタンの扱い方を教えているわけではありません。

キリストの力が悪魔から来ているという主張に反論したのです。

この箇所を中心的な問題は、「キリストが奇跡を起こしたのは、神の力なのか、サタンの力なのか」ということです。

イエスは簡単な例えを提示しました。神だけがサタンの王国を破壊し、略奪するのに十分な力を持っているのですから、神の力によるものに違いありません。

ファリサイ派の人々は、イエスがサタンの王国を建設していると告発しました。イエスは、自分がサタンの王国を略奪していると主張しました。

マタイ12:29は、「強者」に効果的に対処する方法について、すべての信者に対する普遍的な命令ではなく、サタンに対するキリストの個人的な力を歴史的に示したものです。

サタンを縛ることを支持するためにこの聖句を使用することは、せいぜい文脈を無視することです。

マタイ 16：19 と文脈 [17]

マタイ 16：19：

私はあなたに天の御国の鍵を与えよう。そして、あなたが地上で縛るものはすべて天で縛られたものであり、あなたが地上で解くものはすべて天で解かれたものである。

縛りの方法論を提唱する人たちは、イエスは「主の教会を建てる」方法について指示している（18節）と間違っています。

それは、私たちが地上でサタンを縛り、天でサタンを縛るようにしなければ実現しないということです。

これは、信者がサタンを束縛することを命じていると受け取られます。

そして、そうすれば、サタンは天で束縛されるという付随する約束があります。文脈を見てみると、この言葉は、ペテロがイエスを「生ける神の子、キリスト」と偉大に告白したことに応じて発せられたものであることがわかります（16：16）。

19節でイエスがこの言葉を発したのは、ペテロのキリストの告白に対する応答です。イエスはペテロの告白に応じているのですから、「縛る」「解く」が何を指しているにせよ、イエスが教会を建てることに関係しているはず（18節）。

私たちは、文脈が霊的な戦いとは全く関係がないことに気付きました。

イエスは弟子たちにサタンを征服する方法を教えていたわけではありません。そのような考え方は、この文章には全くありません。

現代の霊的戦いの専門家たちは、このような文脈にもめげず、目の前の課題を無視して、この文章に「拘束力のある戦い」の命令を読み込んでいます。

この箇所の鍵は、「縛る」と「緩める」という言葉にあります。

アイスとディーンが指摘しているように、「それはキリストの時代にイスラエルの宗教指導者たちが、禁止されていること（縛る）と許可されていること（緩める）に関して使った言葉です。

この言葉は、1世紀のユダヤ人の文脈の中で語られたものであることを理解する必要があります。

この言葉は、ペテロや元々の読者にとっては、祈りの中で口にする魔法の式によってサタンの活動を妨げたり制限したりすることとは関係のないものでした。

マタイ16：19と18：18でこの言葉が使われていることに関連して、新約聖書神学辞典によると、

「イエスは、ペテロと他の弟子たちに、魔法をかけたり、自由にしたりする力を与えていない。ラビの表現の慣習的な意味は、同様に議論の余地がない。つまり、教義の決定事項として、禁止または許可を宣言しそれによって義務を課したり除去したりできるという議論にはならない”19]

ペテロは、使徒の代表として、教会で教義上の宣言や義務を果たすための一定の権限を与えられていた。

新約聖書のギリシャ語学者であるA.T.ロバートソン博士は、時制の意味を説明しています。ロバートソン博士は、使用されている動詞の時制の意味を次のように説明しています：「未来の完了形指示詞（ἔσται δεδεμενον, ἔσται λελυμενον [ estai

完成した状態です。これらのことは、もちろん、ペテロの鍵の使用がキリストの教えと心に一致する

ことを前提としています。

“あなたがたが地上で縛るものは、すでに天で縛られているものであり、あなたがたが地上で解くものは、すでに天で解かれているものである」 [21] 。

ペテロは、天が禁じたものだけを地上の教会で禁じなければなりません。彼は、天が許可したものを、地上で、教会で、許可しなければならなかった。23]

1世紀のユダヤ人社会では、このようにこの言葉が使われていました。これは、イエスがこの言葉を使った方法です。これは、霊的な戦いや、私たちがサタンに対して行うこととは全く関係がありません。

これはラビの言葉で、天が許されていること、禁じられていることを地上に宣言する権威と責任を与えられていることに関係しています。

この箇所を使って、私たちの「束縛の祈り」によってサタンの活動が抑制されるような霊的戦いの方法論を教えることは、この箇所を誤用しています。

マタイ18：18 と文脈 [24]

マタイ 18：18

「あなたがたが地上で縛るものは、天でも縛られていたものであり、また、あなたがたが地上で解くものは、天でも解かれていたものである。」

“縛る”と“ゆるす”は、この箇所ではマタイ16：19と全く同じ意味で使われています。考え方は同じですが、ここでは教会の規律の実践に適用されています。

イエスは、信者が地上で誰かを正当に破門するとき、天ですでに決定されている神の意志を果たしていることを確信できると言っています。

このことは、信者が自分のしていることに自信を持つことにつながります。つまり、この文脈では、「縛る」と「緩める」は、現代の司法用語である「有罪を宣言する（縛る）」または「無罪を宣言する（緩める）」に対応する考えを持っているのです。

この2つの箇所では、どちらの言葉も、サタンや悪魔を縛るという現代的な考えを指していません。

むしろ、これらの記述は、天ですでに決定されている神の天の意志を地上で実行することを意味しています。25]

他の箇所と同様に、この箇所も霊的戦いやサタンを縛ることとは何の関係もありません。

このような聖句の乱用は、神の子にとって深い懸念となるべきものです。

サタンを縛るという行為には、現実的で常識的な問題がいくつかあります。

まず、これらの聖句に基づいてサタンを縛ることを提唱している霊的戦いの教師たちは、この聖句の「ゆるす」という部分については一言も触れていません。

しかし、サタンを縛る権限を与えていると思われる同じ節では、「ゆるす」ことについても言及しています。

彼らの神学では、これは一体何を指しているのでしょうか？

サタンを解放する権限を持っているということでしょうか？

サタンを縛っておいて、祈りながらサタンを解放する愚か者がいるのでしょうか？

多くのクリスチャンがサタンを縛るために祈るのを聞いたことがあります、

「イエス・キリストの御名と血によって、サタンよ、あなたを解放します、あなたが欺きと破壊の通常の活動に戻ることができるように」と祈るのを聞いたことはありません。

しかし、もし引用されている箇所が悪魔を縛る権威を与えているとしたら、これらの箇所にある「縛る」とは何を意図しているのでしょうか。

第二に、聖書のどこにも、使徒や預言者がサタンを縛った例はありません。

イエスがこのような言葉を発したのを聞いたこともありません。

新約聖書には多くの祈りが記録されていますが、「サタンを縛った」とは一度も書かれていません。

“確かに、もしこのような習慣が福音の発展と宣教事業の成功に必要であれば、パウロの宣教旅行の前に行われていたはずで

もし、このような方法が必要不可欠であるならば、教会が迫害に応じて、あるいは礼拝のために集まる前に、このような方法を採用していることが予想されます。

しかし、使徒言行録にはそのような記述はありません。何もないのです。

簡単に言えば、それを行うようにとの命令はなく、それを規制する教えもなく、その例もないのです。

神の武具には、鎖、ロープ、ケーブル、手錠などはありません（エペソ6：10-17）。

第三に、聖書はサタンを「信者に拘束されず、歩き回っている」と表現しています。

ペテロは1ペテロ5：8でクリスチャンに「冷静な心で、警戒しなさい」と警告しています。

あなた方の敵である悪魔は、ほえたける獅子のように、誰かを食い尽くそうと歩き回っています。もし、「私はサタンを縛ります」と言うだけでサタンを縛ることができるなら、この警告は意味がありません。実際、今日、キリスト教界では縛りが行われていますが、サタンはどのような意味で誰かを食い尽くそうとろついているのでしょうか。

第四に、サタンが拘束されると聖書に書かれているのは、この現代の後にあるキリストの千年の支配の間だけです。

その縛りは、信者の働きではなく、イエスに代わって天使が行ったものだと言われています。

彼は特定の期間（1,000年）拘束され、現在の欺瞞的な活動は完全に終了します。（3節）。

この出来事は、現在起こっていることではなく、まだ未来のことです。現在の時代には、サタンは地上をあちこち歩き回って、人を欺き、あらゆる活動をしています（ヨブ記1：7）。

第5に、この行為は「常識的なテスト」にさえ合格しません。

例えば、この縛りはいつまで続くのでしょうか。

例えば、この縛りはどのくらい続くのでしょうか？

どうやら、この縛りは永久的なものではないようです。ある人からサタンを束縛しても、他の人を攻撃したり、影響を与えたりすることを禁じていないようですから、万能ではないでしょう。

サタンが拘束されている限り、彼は非常に生産的で活動的であるようです。

誰かが彼を失っているのでしょうか？

悪霊が彼を自由にしているのでしょうか？

そうだとしたら、すべての悪魔とサタンを、すべての人、すべての場所、すべての出来事から束縛すればいいのです。

そうすれば、問題は解決します。

こんなことが本当にうまくいくと思っている人はいますか？

このようなやり方は、すぐに馬鹿げていて役に立たないように見えてきます。

これらの質問に答え、どのように、なぜ、どこで効果があるのかを説明するには、人々が聖典の外に出て、自分の想像力から答えを作り出す必要があります。

上記の質問のどれも、聖書からは答えられません。

無害などころか危険である

この時点で、ある人は、この行為全体が非常に無害であると指摘して、反論するかもしれません。

結局、誰かがこれをしたところで、何の問題があるっていうの？

私は、人々がサタンを縛るために祈ったり、命令したりしても、実際には何の害も起こっていないと主張します。

本当の問題は、「何の害があるのか」ではなく、「何の役に立つのか」です。

本当の問題は、「何の害があるか」ではなく、「何の益があるか」です。

聖書の中には、これらの縛りの祈りが何かをもたらすことを示唆するものは何もありません。もしそれが全く効果のない、意味のない雑念であるならば（私はそうだと主張しています）、なぜそれをするのでしょうか。

役に立たないのです。何も起こりません。

聖書は、このテクニックを使うことを全く教えていませんし、モデルにもなっていません。

効果的な霊的戦いを行うために、聖書以外の方法を用いることができるというのは、証明されていない（そして危険な）仮定です。

私たちは、神の御心を神の方法で行うように言われているのであって、ありもしないのに独自の方法を考案することはありません。

2コリント10：3-5は、霊的戦いがどのように行われるべきかを教えています。

それは真理の戦いです。

神の指示に従わず、人間が作った手段を採用することは、私たちの最高司令官が与えた方法で戦争を行うことではありません。それは不服従です。このやり方は聖書では教えられていませんし、実際に何かを成し遂げると信じる理由もありません。

「拘束」の提唱者はこの質問に答えなければなりません。

「これらの聖句がその文脈の中で明らかにこの実践を教えているから実践するのか、それとも実際に何かをすると信じたいから実践するのか？」

私は後者ではないかと思います。